

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和5年度第4回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和6年2月16日(金) 午後1時30分～2時30分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報 告

各地区の進捗状況報告について

4. 議 題

令和6年度「まつどDEつながるステーション」の承認・活動費の支出について

(小金地区、東部地区、六実六高台地区、馬橋地区、明第2西地区、明第一地区、
小金原地区、馬橋西地区、矢切地区、常盤平地区、新松戸地区、五香松飛台地区)

5. その他

4 出 席 者

(1) 出席委員(7名)

会長	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会 会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会 会長
委員	平川 茂光	松戸市民生児童委員協議会 会長
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部 部長
委員	上野 真一	松戸市市民部 部長
委員	松本 篤人	松戸市福祉長寿部 部長

(2) 出席機関(7名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(7名)

松戸市社会福祉協議会

5 議事内容

■各地区の進捗状況報告について

松戸市地域共生課より説明。

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

五香松飛台地区について、定期開催に向け準備中となっているが年度内にプレイベントの開催予定はあるか。

【回答】

来年度より定期開催予定であり、プレイベントは開催しない。

■令和6年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

(小金地区、東部地区、六実六高台地区、馬橋地区、明第2西地区、明第一地区、小金原地区、馬橋西地区、矢切地区、常盤平地区、新松戸地区)

令和5年度に続き令和6年度も継続して活動する11地区の申請内容について松戸市地域共生課より一括して説明。異議なしとして承認された。

(1) 小金地区

小金地区ステーションの開催概要

ステーション名	小金わくわく農園
目的	農福連携をテーマに、農作業を通じて子どもから高齢者等の多世代交流の機会創出を目的とする。
期間	令和6年4月～令和7年3月(毎月開催予定)
開催場所	・農園(農作業場所):松戸市平賀 ・拠点:赤門家(松戸市平賀7-2) ・小金北市民センター 等
開催内容	・農作業を通じての多世代交流(種まきや草抜き等の農作物の手入れ) ・収穫イベント ・農作物について農業指導者より学びの提供 ・タウンミーティング ・小金地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	小金地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回 30～100人程度
運営者人数	1回 10～20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各委員の活動での告知)
助成金申請額	480,000円

(2) 東部地区

東部地区ステーションの開催概要

ステーション名	東部地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
期間	令和6年5月～令和7年3月(年6回開催予定)
開催場所	松戸市大橋 1102、熊野神社、高塚新田集会所、秋山集会所、和名ヶ谷集会所、東松戸ゆいの花公園 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none">・飲食物の提供や工作体験等を通じての多世代間交流・東部地区および市内の各種情報提供・アンケートの実施
主な対象者	東部地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回 50人程度
運営者人数	1回 10人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
助成金申請額	480,000円

(3) 六実六高台地区

六実六高台地区ステーションの開催概要

ステーション名	つどうde6∞6(ツドウデロクロク)
目的	多世代間および運営者間の交流及びつながりづくり等を促進する。
期間	令和6年4月～令和7年3月(毎月開催予定)
開催場所	【固定型】 信隆寺、みんなの居場所あびす 【巡回型】 六実市民センター、高竈神社 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none">・時間と場所を固定した固定型開催で、自由に過ごせる居場所の提供・巡回型開催で固定型および区内既存活動等を周知・六実六高台地区および市内の各種情報提供・アンケートの実施
主な対象者	六実六高台地区の方々および居場所運営などに関わるの方々 等
参加者人数	1回 5～100人程度
運営者人数	1回 2～30人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各委員の活動での告知)
助成金申請額	480,000円

(4) 馬橋地区

馬橋地区ステーションの開催概要

ステーション名	まばし DE エンジョイ!
---------	---------------

目的	地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
期間	令和6年5月～令和7年2月(年6回開催予定)
開催場所	馬橋東市民センター、八ヶ崎市民センター、八ヶ崎小学校、八ヶ崎第二小学校、県立松戸高等学校、県立松戸高等学校周辺農地、各町会会館 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びを通じた多世代交流 ・農作物の収穫を通じての多世代交流 ・馬橋地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとその保護者 ・地域の高齢者、中高生等
参加者人数	1回 20～100人程度
運営者人数	1回 20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各委員の活動での告知)
助成金申請額	480,000円

(5)明第2西地区

明第2西地区ステーションの開催概要

ステーション名	にじいろステーション
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
期間	令和6年4月～令和7年3月(毎月開催予定)
開催場所	古ヶ崎市民センター、青少年会館樋野口分館、栄町8丁目町会会館、古ヶ崎本田町会集会所 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや創作活動等の体験を通じての多世代間交流 ・サロン ・明第2西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	明第2西地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回 100人程度
運営者人数	1回 20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
助成金申請額	480,000円

(6)明第一地区

明第一地区ステーションの開催概要

ステーション名	はばたけ明第一 ～世代をこえて～
---------	------------------

目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
期間	令和6年5月～令和7年2月(年5回開催予定)
開催場所	地区内のブロック毎の集会所、市民センター、公園、学校の体育館やグラウンド等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の各ブロックを巡回し、子ども、保護者、高齢者向けの遊びや出し物を通じた多世代交流 ・明第一地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	明第一地区在住者および在勤・在学者
参加者人数	1回20～50人程度
運営者人数	1回15人程度
広報手段	チラシ配布/ポスター掲示/SNS投稿/その他(口コミ・各実行委員の活動での告知)
助成金申請額	400,000円

(7)小金原地区

小金原地区ステーションの開催概要

ステーション名	小金原地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて地域への愛着を持ってもらう。
期間	令和6年4月～令和7年3月(毎月開催予定)
開催場所	小金原7丁目西町会会館等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を問わずに集える場を通じて多世代間交流を図る ・小金原地区および市内の各種情報提供 ・アンケート
主な対象者	小金原地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回30人程度
運営者人数	1回10人程度
広報手段	チラシ配布/ポスター掲示/SNS投稿/その他(口コミ・各実行委員の活動での告知)
助成金申請額	480,000円

(8)馬橋西地区

馬場西地区ステーションの開催概要

ステーション名	みんなでワイワイ
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
期間	令和6年5月～令和7年2月(年6回開催予定)
開催場所	馬橋小学校、旭町小学校、馬橋市民センター、町会会館等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルスポーツの体験等を通じた多世代間交流 ・ステーション活動の周知

	<ul style="list-style-type: none"> ・馬橋西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	馬橋西地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回 20～100人程度
運営者人数	1回 10～20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000円

(9) 矢切地区

矢切地区ステーションの開催概要

ステーション名	矢切地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
期間	令和6年6月～令和7年2月（年6回開催予定）
開催場所	総合福祉会館 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の提供（ポップコーン等）、遊び体験、ワークショップ、交流（カフェ）スペース等を通じての多世代間交流 ・矢切地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	矢切地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回 100人程度
運営者人数	1回 15人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000円

(10) 常盤平地区

常盤平地区ステーションの開催概要

ステーション名	まつどDEつながるステーション in ときわ平
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
期間	令和6年4月～令和7年3月（年6回開催予定）
開催場所	市民センターや地区内の集会所 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の既存活動を周知・体験 ・喫茶コーナー ・健康、相談コーナー ・常盤平地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	常盤平地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回 20～50人程度

運営者人数	1回 10～20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000円

(11)新松戸地区

新松戸地区ステーションの開催概要

ステーション名	新松戸地区「まつど DE つながるステーション」
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ステーション活動を通じて多世代交流の機会を生み出すことにより、地区内で顔見知りを増やすきっかけとする。 ・新松戸地区の特色を活かしたプログラムを実践することにより、地区へのシビックプライド等を醸成するきっかけとする。
期間	令和6年5月～令和7年2月（年6回開催予定）
開催場所	新松戸市民センター 等
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古本等による市（いち） ・さまざまな遊びを通じた多世代間交流 ・カフェスペース ・新松戸地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	新松戸地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1回 100人程度
運営者人数	1回 20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問 1】

小金原地区について、来訪者が楽しみ方を考えていくとはどういうことか。また常盤平地区はどのような既存活動をどのように周知・体験したのか。

【回答 1】

小金原地区では町会会館で毎月第4土曜に実施。特定のプログラムは設けず、ボードゲームや乳幼児が遊べるおもちゃ、絵本等を用意し、来訪者が自由に過ごせるようにしている。近隣の方が来ることが多いが、実行委員のロコミで遠くから来ている方もいる。

常盤平地区では1月に牧の原団地でどんど焼きと同時開催した。3月にはときわ平子ども食堂と同時開催、6月には千駄堀湧水広場にてホテルの鑑賞会と同時開催予定であり、活動を周知していきたい。

【質問 2】

地域と人とのつながりをどのようにつなげていくかは大きな課題であり、地域のつながりを考えると市民の安心安全は外せない事項であるが、これについて市民の意見や活動している委員の声があれば紹介してほしい。

【回答 2】

学校は誰でも知っており、誰でも来やすい場所なので借りたいとの声が地域よりあった。また、自分の町会の集会所や会館の場所は知っているが隣の町会だと知らないといったことがあるが、この居場所づくりの事業を通じて誰でも来やすい場所として認知度があがるよう案内できていると思う。

団体、委員同士で知っているようで知らないことがあったが、最近は横の連携が取れてきているようである。情報共有するためにもお互いに何をやっているか知り合える関係性を作れるよう地域共生課は実行委員会と一緒にやっていき、今後も実行委員会の意見を聞きながら課題を見つけて取り組んでいきたい。地域共生課としては、みんなが顔見知りになり、声を掛けあえるような身近な居場所としてやっていきたい。

【質問 3】

毎月開催しているところも増えてきているが予算は足りているのか。

【回答 3】

昨年度のアンケートでは予算は 87%の人が足りていると回答している。今年度のアンケートはこれから実施する。

【質問 4】

3 年目を迎える実行委員会もあり、次はどうするといった議論が出てくるかと思うが、地区ごとに何を目的にするのか見えづらく感じる。例えば六実地区では巡回型から固定型にどのくらいいるか、参加者からボランティアになった人がいるのか、ストーリーが見えてほしい。事例があれば聞きたい。

【回答 4】

六実六高台地区では巡回型に来た親子が固定型に来たり、興味を持った方より手伝いたいとの声もあり、委員は増加傾向にある。

マンネリ化について民生委員や地域で活躍している方の話を聞くと、劇的に変化がなくとも地域に馴染ませていくことも必要との声をもらっている。

小金地区では参加した家族より手伝いたいとの話があった。農福連携ということで高齢者施設の入所者や障がいがある方で大人数での参加や作業が難しい場合、平日に開催したりできる範囲で作業をしてもらうなどして活動してもらっている。

明第 2 西地区では重荷にならない親しみやすいボランティアの新しい形を目指している。

新松戸地区では本を用いた交流の場を開催したところ 300 人近い参加があり、アンケートではイベントをまたしてほしい、運営に参加してみたいとの回答をもらった。活動をしていく中で興味を持った方がボランティアとして参画してもらおうといった循環が段々と出始めている。

【質問 5】

馬橋西地区から馬橋地区へポッチャ大会を一緒にやりたいとの話があった。共同開催するには予算的なものがあるので検討してもらいたい。

またお菓子代は支出が大きく、今年度馬橋地区で始める農園も肥料代がかさむため安く購入できるよう各地区実行委員会のものを一括購入できないか検討してもらいたい。

【回答 5】

馬橋地区は県立松戸高等学校、馬橋西地区は県立馬橋高等学校の高校生がボランティアとして参加しているので、一緒にポッチャ大会をするときには交流してほしい。

市社会福祉協議会から活動費の支払いをして頂いていることにより支払いのスピード感や購入先に柔軟に対応できていると思っている。食品についての賞味期限があるので難しいと考えるが、地域共生課でも前向きに考えていくので、共同開催をやってもらえればと思う。

農園運営についてはどの作物を植えるのか、どのくらいの肥料を使うのか、見えてきた時に農園運営をやっている小金地区を参考にしながら対応してまいりたい。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

松戸市に住んでいる人が住みがいがある、関わりがあることを拾い上げていかないと満足度が高まらないと思っている。

職員は地域や実行員会から意見をもらい、課題をあたえられて育てられ、活きた研修を受けていると思っている。今後も市社会福祉協議会の皆さんの協力を得て推進したい。

■令和 6 年度「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について (五香松飛台地区)

五香松飛台地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

五香松飛台地区ステーションの開催概要

ステーション名	五香松飛台地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代が交流し地域への愛着・誇りを持ってもらう。
期間	令和 6 年 5 月～令和 7 年 2 月(年 6 回開催予定)
開催場所	五香公会堂、五香市民センター、松飛台市民センター 等
開催内容	・世代を問わずに集える場を提供 ・多世代間の交流イベント実施 ・五香松飛台地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	五香松飛台地区在住者および在勤、在学者
参加者人数	1 回 30 人程度

運営者人数	1回10人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS/HP／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	480,000円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

6 その他

今後の予定

令和6年度第1回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時:令和6年4月12日(金) 午後1時30分～